

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.835
2019.5.26

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
 TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
<http://www.jcp-saitama.jp/>

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

6月議会がはじまります

6月定例会が6月5日から28日までの24日間、開かれます。統一地方選挙後に開かれるはじめての市議会です。6月10日～12日に一般質問がおこなわれます。党市議団から、とばめぐみ、金子あきよ、たけこし連の各市議が質問にたちます。ぜひ傍聴にお越しください。

質問の予定 (内容は変更することがあります)



とば めぐみ

- 1 待機児童問題と幼児教育・保育の無償化について
- 2 過大規模校解消について
- 3 教育条件整備について



金子 あきよ

- 1 南区太田窪の国有地の跡地利用について
- 2 障害者の入所施設建設について
- 3 選挙の投票率向上のためのとりくみについて



たけこし 連

- 1 核兵器禁止条約について
- 2 給付制奨学金制度の創設について
- 3 コミュニティバスについて

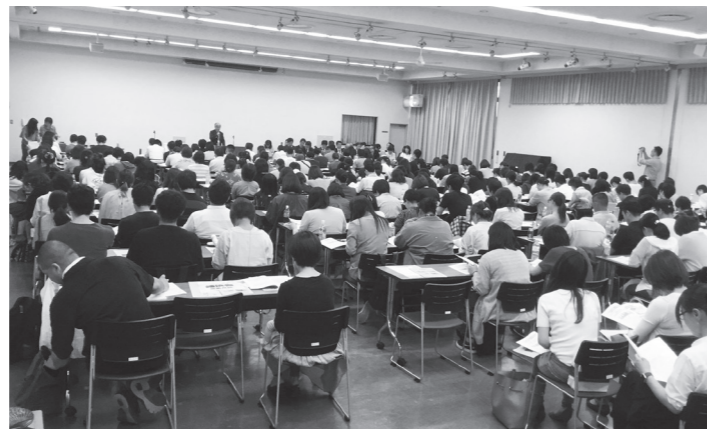


党市議団は、今後もすべての子どもたちの放課後、長期休みの充実、安心して働きながら子育てできるさいたま市にむけて全力を尽くす決意です。

学童保育 量・質ともに 拡充する1年に

さいたま市学童保育連絡協議会が総会を開催

5月19日、中央区のと野本町コミュニティセンターで、さいたま市学童保育連絡協議会（さいたま市連協）の総会が開催され、党市議団から久保みき、とばめぐみ、たけこし連の各市議が参加しました。



さいたま市の学童保育は103小学校区に公立74カ所、民間192カ所、合計266カ所あります。入所児童数は1万人以上です。同会の西田隆良会

長は「学童保育をめぐる状況は、どこでも人手不足。経験を蓄積し、専門性のある指導員が決定的に足りない。量、質ともに拡充が必要である」と話しました。

特別報告では、はじめに保護者の方が、新設クラブ開設のための物件探しをはじめ、大変な苦勞をしてきた話、学校内施設移転の実現および定員超えにともない新設が必要となっている実態など、切実な問題が提起されました。また、指導員からは、正規指導員複数

体制の必要性について、正規がひとり体制だった時代の困難が語られ、複数体制になってからどんなに救われたかが報告されました。

総会に参加した久保市議は「仕事と子育てのかたわら、保護者自らが学童保育をたちあげ、運営する苦勞はいかばかりか。党市議団はこの間、国庫補助を満額活用した指導員の処遇改善を求めてきた。また、障がい児への巡回相談はじめ支援の拡大など、細やかな要望に寄り添っていきたい」と語りました。

再開発は 住民の声を生かして

5月12日にNPO 区画整理・再開発対策全国会議が大宮駅周辺の再開発について学習会をおこない、党さいたま市議団から神田よしゆき、松村としお、とばめぐみの各市議が参加しました。

岩見良太郎氏（埼玉大学名誉教授）を講師に迎えた学習会では、国が大宮駅周辺を地域指定して開発を促し、国と地方が一体になって進めていること、公共施設をとりこんで再開発を進めるやり方は行き詰まることなどが



講演をおこなう岩見良太郎埼玉大学名誉教授

指摘されました。さいたま市は今後も公共施設の移転による駅前再開発を計画しており、開発に大量の税を投入するため福祉を削り、子育てや教育に税金が使われにくい状況が生まれています。松村市議は「身の丈に合った、住民の声を生かしたまちづくりを基本にするべき」と話します。

学習支援事業が 塾業者に

さいたま市では生活保護世帯などの生活困窮世帯の中・高生を対象に学習支援事業をおこなっています。この4月から、それまでのNPO 団体から大手塾産業へ事業者が替わりました。

党市議団として、格差と貧困を正し、貧困の連鎖を絶つ努力のひとつとして、学習支援の実施箇所数や対象者を広げるよう求め、実現してきました。しかし、営利目的の塾産業の業者が福祉目的の学習支援事業を請け負うことについては懸念も多いことから、担当課に聞き取りをおこないました。



聞き取りをおこなう
党市議団

新しい事業者のもとで、困難な家庭状況に寄り添った支援がされるのか、福祉的な視点を塾業者でできるのか、なぜ入札を一般競争に変えたのか、これまでの事業者の何が問題だったのか、子どもと支援者の関係を丸ごと変える問題を検討したのか、などを聞きました。聞き取りを通じて、検討の不十分さがうかがえ、懸念は解消されませんでした。引き続き党市議団として議会でも取り上げるなど、とりくんでいきます。

保育所 不承諾数 2598 人 でも待機児童は 393 人？



さいたま市は4月1日時点での待機児童数を393人（前年比78人増）と発表しました。しかし、実際には申し込んでも入れなかった子どもは2598人（前年比528人増）でした。国の待機児童を算出する基準では認可外保育施設利用者や、育児休業中で「復職意思がない」などに該当する場合は待機児童としてカウントされません。

市は2019年度、保育所定員を1268人増やす予定ですが、まったく不十分です。さらに市は小規模保育事業所を増やしています

が、3歳になると別の保育所に入所しなければならないなどの問題があります。

党市議団には「18カ所希望したがどこも入れなかった」など深刻な声が寄せられています。これまで党市議団は、不承諾数に見合う従来型の認可保育所整備をするよう求めてきました。また「保育士を募集しても集まらない」という声もあり、保育士の処遇を大きく改善するよう求めてきました。今後も希望するすべての子どもが入所できるよう、全力でとりくみます。

私立保育園協会総会

不承諾にみあった整備を

5月16日に私立保育園協会の総会がおこなわれ、党市議団から松村としお、久保みき、たけこし連の各市議が参加しました。同協会は市内の多くの私立保育園が参加しており、毎年、党市議団と懇談をおこなっています。

総会では剣持浩会長（桜区・わらしべ保育園園長）があいさつをするとともに、出席し

た副市長が来賓あいさつをおこないました。

また各会派の代表があいさつをおこない、党市議団からは松村市議が「待機児童数が発表されたが不承諾数にみあった施設整備が必要。あわせて保育士の処遇を大幅に改善するなど保育士を支える施策の充実を求めていきます」と話しました。

あなたの身近な議員です



市議(北区) 神田よしゆき 市議(浦和区) とりうみ敏行 市議(緑区) 松村としお 市議(桜区) 久保 みき 市議(見沼区) とばめぐみ 市議(南区) 金子あきよ 市議(中央区) たけこし連